



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 尾留川 一仁 TEL 03-3471-0011
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,584	△1.7	135	△5.3	183	△15.7	115	△24.0
2024年3月期第1四半期	4,662	△4.6	142	△46.0	218	△31.4	151	△18.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 331百万円 (186.7%) 2024年3月期第1四半期 115百万円 (△59.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	20.68	20.19
2024年3月期第1四半期	27.49	26.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	21,703	10,936	49.7	1,937.71
2024年3月期	21,356	10,777	49.7	1,909.16

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,778百万円 2024年3月期 10,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,600	0.5	360	0.1	350	△23.9	240	△23.6	43.28
通期	20,500	5.7	920	6.3	900	14.4	620	8.3	111.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	6,006,373株	2024年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	443,973株	2024年3月期	443,973株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	5,562,400株	2024年3月期1Q	5,507,256株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、雇用・所得環境の改善、インバウンド消費の増加などもあり、国内の消費活動は緩やかに回復の動きを見せています。一方、長期化するウクライナ紛争に加えイスラエル・パレスチナ紛争など、地政学リスクの上昇や、外国為替相場における大幅な円安の進行など先行き不透明な状況が継続しております。

物流業界におきましては、国際貨物は、半導体製造装置の輸出は増加傾向にありますが、輸出入ともに低調な荷動きとなりました。国内貨物は、建設関連貨物の減少が影響し低調な推移となりました。

このような事業環境の中、当グループは、中・長期的ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、2023年7月に策定した3ヵ年の中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）において、顧客の真のニーズを引き出し、生産効率向上に寄与するソリューションの実現に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、売上高につきましては、顧客の生産調整等の影響により工作機械の取扱いが減少したことに加え、中国子会社における大型スポット案件の遅れが影響したことで減少いたしました。営業利益につきましては、人材の確保を積極的に行ったことにより販売費及び一般管理費が増加したことで減少いたしました。

なお、経常利益につきましては、急激な円安の進行の影響を受け発生した為替差益87百万円を営業外収益に計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高45億84百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益1億35百万円（前年同期比5.3%減）、経常利益1億83百万円（前年同期比15.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億15百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①梱包事業部門

顧客の生産調整等の影響により工作機械の取扱いが減少したことに加え、中国子会社における大型スポット案件の遅れにより、売上高は減少いたしました。

セグメント利益につきましては、半導体製造装置の輸出取扱いが好調に推移したことにより増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高32億30百万円（前年同期比4.3%減）、セグメント利益3億30百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

②運輸事業部門

前年大幅に減少していた医療機器の取扱いが復調し、小型精密機器の取扱いも好調に推移したことに加え、外注費の値上がり分について顧客への価格転嫁が進んだことにより、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高6億46百万円（前年同期比18.6%増）、セグメント利益50百万円（前年同期比84.3%増）となりました。

③倉庫事業部門

前年増加した半導体製造装置及び工作機械の出荷待ち製品の保管が減少したことに加え、顧客の倉庫集約により生じた空き倉庫スペースへの客付けが遅れている影響で売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高6億43百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益1億12百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

④賃貸ビル事業部門

本社ビルが満床で稼働しているため、売上高は増加いたしました。

セグメント利益につきましては、修繕費が前年より減少したため増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高63百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益18百万円（前年同期比78.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産217億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億46百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、66億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億93百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加3億98百万円、売掛金の減少2億77百万円、電子記録債権の増加1億20百万円の増加によるものであります。

固定資産につきましては、150億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の増加96百万円、土地の増加45百万円、リース資産の減少57百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少11百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加22百万円、繰延税金資産の増加56百万円によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、107億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億87百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、57億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1億46百万円、短期借入金の減少1億58百万円、賞与引当金の減少1億68百万円及びその他の増加4億21百万円によるものであります。

固定負債につきましては、50億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億78百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加2億68百万円、リース債務の減少63百万円及びデリバティブ債務の減少41百万円によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、109億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億58百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の減少57百万円、為替換算調整勘定の増加2億円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.7%から変動はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,220,135	2,618,340
受取手形	21,461	19,560
売掛金	3,505,357	3,227,432
電子記録債権	9,837	130,437
未収還付法人税等	59,228	—
原材料及び貯蔵品	447,369	429,155
その他	188,793	220,366
貸倒引当金	△5,200	△4,900
流動資産合計	6,446,983	6,640,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,486,098	8,582,590
機械装置及び運搬具(純額)	330,153	343,821
土地	2,907,078	2,952,186
リース資産(純額)	669,149	611,172
建設仮勘定	75,910	80,668
その他(純額)	37,538	36,089
有形固定資産合計	12,505,928	12,606,529
無形固定資産		
ソフトウェア	237,248	226,074
ソフトウェア仮勘定	4,730	5,049
その他	645	611
無形固定資産合計	242,623	231,735
投資その他の資産		
投資有価証券	518,964	541,460
繰延税金資産	764,597	821,166
その他	883,325	867,641
貸倒引当金	△5,761	△5,651
投資その他の資産合計	2,161,125	2,224,616
固定資産合計	14,909,677	15,062,881
資産合計	21,356,661	21,703,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	818,699	671,820
短期借入金	3,218,257	3,059,949
リース債務	277,382	281,426
未払法人税等	13,373	71,674
賞与引当金	380,933	212,173
その他	1,036,803	1,457,974
流動負債合計	5,745,450	5,755,017
固定負債		
長期借入金	2,750,327	3,018,856
リース債務	316,691	252,713
退職給付に係る負債	890,176	902,814
資産除去債務	488,750	491,333
デリバティブ債務	99,080	57,448
その他	288,980	288,980
固定負債合計	4,834,006	5,012,146
負債合計	10,579,456	10,767,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,465,429	2,465,429
利益剰余金	5,365,511	5,308,119
自己株式	△252,489	△252,489
株主資本合計	10,102,317	10,044,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259,775	274,030
為替換算調整勘定	284,631	484,792
退職給付に係る調整累計額	△27,217	△25,438
その他の包括利益累計額合計	517,189	733,384
新株予約権	47,277	47,277
非支配株主持分	110,420	110,523
純資産合計	10,777,204	10,936,111
負債純資産合計	21,356,661	21,703,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,662,404	4,584,069
売上原価	3,689,533	3,595,783
売上総利益	972,870	988,285
販売費及び一般管理費		
販売費	356,602	367,526
一般管理費	473,330	485,353
販売費及び一般管理費合計	829,933	852,880
営業利益	142,937	135,405
営業外収益		
受取利息	5,530	4,020
受取配当金	6,966	6,793
受取保険金	—	689
為替差益	105,187	87,509
その他	5,441	1,683
営業外収益合計	123,126	100,695
営業外費用		
支払利息	17,889	16,706
デリバティブ評価損	29,391	32,889
支払手数料	747	249
その他	—	2,412
営業外費用合計	48,028	52,258
経常利益	218,036	183,842
特別利益		
固定資産売却益	—	724
特別利益合計	—	724
税金等調整前四半期純利益	218,036	184,566
法人税、住民税及び事業税	108,684	134,274
法人税等調整額	△43,838	△64,854
法人税等合計	64,845	69,420
四半期純利益	153,190	115,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,803	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,387	115,043

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	153,190	115,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,265	14,255
繰延ヘッジ損益	807	—
為替換算調整勘定	△74,399	200,160
退職給付に係る調整額	1,699	1,779
その他の包括利益合計	△37,626	216,195
四半期包括利益	115,564	331,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,760	331,238
非支配株主に係る四半期包括利益	1,803	103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	189,272千円	203,541千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,376,007	545,398	679,268	61,729	4,662,404	4,662,404
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,249	—	—	1,249	1,249
計	3,376,007	546,648	679,268	61,729	4,663,654	4,663,654
セグメント利益	290,694	27,126	147,543	10,297	475,662	475,662

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	475,662
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△332,724
四半期連結損益計算書の営業利益	142,937

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,230,073	646,881	643,371	63,742	4,584,069	4,584,069
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	938	—	—	938	938
計	3,230,073	647,819	643,371	63,742	4,585,007	4,585,007
セグメント利益	330,306	50,000	112,015	18,372	510,694	510,694

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	510,694
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△375,289
四半期連結損益計算書の営業利益	135,405

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。